

英 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	NEW HORIZON English Course
9	開 隆 堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE
11	学 図	TOTAL ENGLISH
15	三 省 堂	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition
17	教 出	ONE WORLD English Course
38	光 村	COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元の目標の示し方	目標の表記場所、表記の仕方及び具体例
		② コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫	4領域等の言語活動の設定数、基礎・基本の定着を図る言語活動の設定及び具体例
		③ 言語に対する理解を深めるための工夫	関連ある文法事項のまとめの扱い方とその設定数及び具体例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	日常生活の場面を設定した言語活動の示し方及び具体例
		⑤ 積極的なコミュニケーションを促す工夫	英語を使ったペア、グループでの会話の総数、設定場所及び具体例
		⑥ 問題解決的な学習に関する内容構成	情報収集し発信する内容構成のテーマ及び具体例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 言語材料の配列	文法事項が扱われる単元名
		⑧ 題材の内容構成と分量	題材（日常生活・風俗習慣、物語、地理・歴史、伝統文化、自然科学）及び単元数、単元名
		⑨ 小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列	第1学年導入期における外国語活動の接続を図った題材数、題材名及び具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑩ 巻末等資料の工夫	巻末等資料の内容及び語彙リストにおける表記の仕方と具体例
		⑪ 学習到達目標の設定	自らの学びを振り返る学習到達目標の設定場所等と具体例
(オ)	言語活動の充実	⑫ 4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫	4技能を統合的に活用させる言語活動の設定場所とテーマ及び具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元の目標の示し方
方法	目標の表記場所、表記の仕方及び具体例

	表記場所	目標の表記の仕方と具体例（第2学年）
東書	○ Unit（中単元）ごとに学習目標を提示している。	○ Unit 1 ・過去の状態や、過去のある時点の動作について述べることができる。／人やものの外見について述べることができる。 ・自分や友達について、以前とのちがいを説明することができる。
開隆堂	○ PROGRAM（中単元）のセクション（小単元）ごとに学習目標を提示している。	○ PROGRAM 1 ① ・不規則な過去形を持つ動詞を使い、過去のことを言えるようにしよう。
学図	○ Chapter（大単元）ごとに学習目標を提示している。	○ Chapter 1（Pre-Lesson～Lesson2） ・「楽しかった」「疲れた」などの過去の気持ちや気分を表す表現 ・「おいしそうに見える」などの表現 ・過去に「～していました」という表現 ・「～が…するとき」「～が…であるとき」などの表現 等
三省堂	○ Lesson（中単元）ごとに学習目標を提示している。	○ Lesson ① この課で学ぶこと ・ハワイの伝統文化について知る。 ・過去形を理解し、使う。（復習） ・ハワイ滞在の物語文を読む。 ・一言付け加えたりして、会話を続ける。
教出	○ Lesson（中単元）の Part（小単元）ごとに学習目標を提示している。	○ Lesson 1 Part ① ・過去にしたことを説明できる
光村	○ Unit（中単元）ごとに学習目標を提示している。	○ Unit 1 ・したことや、その感想を言ったり、たずねたりできる。 ・春休みにしたことや、その感想についてスピーチができる。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②コミュニケーション能力の基礎の定着を図るための工夫
方法	4領域等の言語活動の設定数，基礎・基本の定着を図る言語活動の設定及び具体例

		4領域等の言語活動の設定数			第2学年	
	領域等	学年			基礎・基本の定着を図る言語活動の設定	具体例（「話すこと」）
		1	2	3		
東 書	聞く	49	28	25	○ 「Listen（ヘッドフォンマーク）」で、対話等を聞いて、正しいものを選ぶ活動等を設定している。	○ Unit 1-2 Dialog ペアになり、昨夜のある時刻にしていたことについて、例にならって対話をしましょう。 (例) A: What were you doing at 7:30 last night? B: I was <u>having dinner</u> then.
	話す	47	22	20	○ 「Speak（マイクロフォンマーク）」で、例にならって基本表現を用いた対話を行う活動等を設定している。	
	読む	36	59	55	○ 「Read（本マーク）」で、本文の内容について日本語の質問に日本語で答える活動等を設定している。	
	書く	43	32	28	○ 「Write（鉛筆マーク）」で、本文に基づいて自分の意見や感想を書く活動等を設定している。	
開 隆 堂	聞く	31	29	23	○ 「Listen（ヘッドフォンマーク）」で、対話を聞いて、適切な絵を選択したり、空所に記号を書き入れたりする活動等を設定している。	○ PROGRAM 1① 例にならい、上の絵について対話しましょう。 (例) A: Did you <u>go to the zoo last Sunday</u> ? B: Yes. I <u>went to the zoo</u> . I had a good time. (go to the park / last Wednesday go fishing / last Saturday take a lot of pictures / yesterday)
	話す	54	50	40	○ 「Speak（マイクロフォンマーク）」「Try（2人の顔マーク）」で、身近な話題について対話練習をする活動等を設定している。	
	読む	22	36	41	○ 「Read（本マーク）」「Q」で、本文の内容について英語で答えたり、日本語で説明したりする活動等を設定している。	
	書く	27	28	22	○ 「Write（鉛筆マーク）」で、例にならって基本表現を用いて書く活動等を設定している。	
学 図	聞く	61	50	44	○ 「Listening（ヘッドフォンマーク）」で、対話等を聞いて、質問に答える活動等を設定している。	○ Lesson 1 1A Activities 下の絵の人になったつもりで、例にならって会話をしましょう。慣れたら自分が行ったことがある場所について会話をしてみましょう。 (例) A: I went to <u>Kyoto</u> last week. B: <u>Kyoto</u> ? Really? A: Yes. It was <u>beautiful</u> . (Kyoto / beautiful Sapporo / interesting New York / exciting Sydney / fun)
	話す	70	55	52	○ 「Speaking（マイクロフォンマーク）」で、基本表現を用いた対話をペアで行う活動等を設定している。	
	読む	29	37	34	○ 「Review」内の「Reading（本マーク）」で、Lesson の題材と関連したテーマの文章を読む活動等を設定している。 「Lesson」内の「Q」で本文の内容について英語で答える活動等を設定している。	
	書く	51	63	59	○ 「Writing（鉛筆マーク）」で、例にならって、基本表現を含む文章を書いたり、単語を並べ替えて完成させたりする活動等を設定している。	

【英語】

三省堂	聞く	32	26	23	○ 「耳マーク」で、対話等を聞いて適切な絵を選択したり、記号を書き入れたり、分かったことを日本語で書いたりする活動等を設定している。	○ Lesson① Get Practice 春休みにしたことについて、ペアで話してみよう。 (例) A: During the spring vacation, <u>I went to Kobe by train.</u> Koji, what did you do? B: <u>I went to a concert by bus.</u>
	話す	36	30	27	○ 「2人の顔マーク」で、身近な話題について対話練習をする活動等を設定している。「1人の顔マーク」で、自分の考えについてスピーチをする活動等を設定している。	
	読む	34	42	35	○ 「Q&A」で、本文の内容について英語で答える活動等を設定している。「本マーク」で、文章を読んで空欄に適切な日本語を書き入れる活動等を設定している。「Use (Read)」内の「1 st Reading」～「3 rd Reading」で、本文の内容理解を段階的に確認する活動等を設定している。	
	書く	29	24	20	○ 「鉛筆マーク」で、例にならって基本表現を用いて英文を書く活動等を設定している。「Use (Write)」内の「Step1」～「Step4」で、自分の考えを英語で書く活動等を設定している。	
教出	聞く	54	44	29	○ 「Listen (ヘッドフォンマーク)」で、対話を聞いて、適切な絵を選択したり、聞き取ったことを日本語でメモしたりする活動等を設定している。	○ Lesson 1 Part④ Activity 例にならって、「～がわたしに・・・をくれた」という英文を言ってみよう。 (例) <u>Shin gave me a new cap.</u> (① Susan / a birthday cake ② Meg (メグ) / a lot of emails ③ Jim / some lemons)
	話す	69	45	32	○ 「Speak (マイクログフォンマーク)」で、例にならって基本表現を用いて対話をする活動等を設定している。	
	読む	32	32	34	○ 「Read (本マーク)」で、「Lesson」の題材と関連したテーマの文章を読んで空欄に適切な語を書き入れる活動等を設定している。各「Lesson」内の「Q」で、本文の内容について英語で答える活動等を設定している。	
	書く	47	40	26	○ 「Write (鉛筆マーク)」で、例にならって基本表現を用いて英文を書く活動等を設定している。	
光村	聞く	60	42	31	○ 「Listen (ヘッドフォンマーク)」で、対話を聞いて、適切な絵を選択したり、記号を書き入れたりする活動等を設定している。	○ Unit 1 Part 1 Try It! ペアになり、春休みにしたことを友達にたずね、Yes か No に○を付けましょう。友達の答えが Yes なら、さらに質問をして、答えを表の _____ に書きましょう。 A: Did you play any sports? B: <u>Yes./ No.</u> A: What sport did you play? B: I _____.
	話す	49	32	31	○ 「Speak (吹き出しマーク)」で、テーマに基づいた対話やスピーチ等を設定している。	
	読む	38	36	33	○ 「Read (本マーク)」で、本文内容について英語で答えたり、日本語で説明したりする活動等を設定している。	
	書く	34	41	34	○ 「Write (鉛筆マーク)」で、例にならって基本表現を用いて英文を書く活動や、自分の意見や考えを書く活動等を設定している。	

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③ 言語に対する理解を深めるための工夫
方法	関連ある文法事項のまとめの扱い方とその設定数及び具体例

	関連ある文法事項の まとめの扱い方	学 年	設定数 (ページ数)	具体例 (第2学年「be going to」)
東 書	○ 「まとめと練習」で文法事項について整理し、「やってみよう」で文の構造をまとめたあと、「確かめよう」で練習するように設定している。	1	7 (7)	○ be 動詞の過去形の肯定文、否定文、疑問文と同時に予定や未来を表す「be going to + 動詞の原形」の肯定文、否定文、疑問文を提示している。
		2	4 (4)	
		3	2 (3)	
開 隆 堂	○ 「英語のしくみ」で文法事項の共通した特徴をまとめたり、整理したりして、効果的な指導の工夫を設定している。	1	3 (9)	○ 未来表現 be going to, will と同時に義務などを表す表現 must, have to, should と接続詞 that を提示している。
		2	5 (10)	
		3	4 (8)	
学 図	○ 「Check It Out」で目標文を中心とした学習事項をまとめ、文法事項を系統的に整理している。	1	9 (12)	○ これから先のことについて言うときの will, be going to と同時に、will と be going to の区別について提示している。
		2	11 (11)	
		3	11 (11)	
三 省 堂	○ 「文法のまとめ」で各 lesson 配当の文法・文構造を、解説と図によって振り返られるよう設定している。	1	7 (7)	○ 未来を表す表現 will, be going to の肯定文、否定文、疑問文と同時に接続詞 that を提示している。
		2	7 (8)	
		3	6 (6)	
教 出	○ 「英語のしくみ」でコミュニケーションの基礎となる文構造と文法について例文と日本語訳をつけて説明している。	1	7 (7)	○ be going to や will を使った文の形、will と be going to の違い、will の意味について提示している。
		2	7 (7)	
		3	4 (4)	
光 村	○ 「Language Focus」で4技能の運用を支える「語彙」「文法」「音声」「慣用表現」について unit を超えて横断的にまとめている。	1	7 (7)	○ 「過去・現在・未来のことを述べる表現」として、未来のことを表すときの be going to, will と同時に一般動詞の現在形、過去形、時を表す語句を提示している。
		2	7 (7)	
		3	3 (5)	

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	日常生活の場面を設定した言語活動の示し方及び具体例

	日常生活の場面を設定した言語活動の示し方	第3学年「話すこと」	
		テーマ	具体例
東 書	○ 「Daily Scene」で生徒が日常生活で使える場面の表現を Step1～3 で設定し、基本練習と発展練習を提示している。	○ 食事の会話 ○ さそい ○ 道案内 ○ 電話の会話	○ 「Daily Scene 1」 食事の会話 メグの父： Help yourself, Erika. エリカ： Thank you. メグの父： Would you like some more? エリカ： Yes, please. It's very good. メグの父： I'm glad you like it. エリカ： May I have some water?
開 隆 堂	○ 「POWER-UP」の「Listening & Speaking」「Speaking」で日常生活の場面を設定し、そこで使える表現を提示している。	○ 旅行（機内で） ○ 道案内 ○ 電話	○ 「POWER-UP Listening & Speaking」旅行（機内で） Kenta: What time ___ in Hawaii now? Flight Attendant: It's about ___ a.m. there. Kenta: When will we ___ Honolulu International Airport? Flight Attendant: We'll arrive there at ___ Friday morning.
学 図	○ 「Talking Time」の中に日常生活の場面で使える会話文を提示し、Step1 で対話するようにしている。	○ Shopping ○ On the Phone ○ Asking the Way	○ 「Talking Time」 Shopping 店員： May I help you? メグ: Yes, I'm looking for a pair of sneakers. 店員： How about these? They're quite popular. メグ： I like them, but do you have them in blue? 店員： Yes, here you are. メグ： Thanks. 店員： Oh, they're a little big for me. メグ： Do you have smaller ones? 店員： Yes, we do.
三 省 堂	○ 「Let's Talk」で、買い物・電話・道案内など、特有の表現がよく使われる場面を選び、日常的な場面における会話練習を設定している。	○ 道案内をしよう ○ どうかしましたか ○ 買い物をしよう ○ 玉子料理はいかがですか ○ 電話をしよう	○ 「Let's Talk」道案内をしよう Man: Excuse me. Could you tell me how to get to the castle? Kumi: Well, go down this street and turn left at the bank. Man: Turn left at the bank. Kumi: Yes. You'll see it on your right.
教 出	○ 「Time for skit」で聞くこと、読むことの活動と関連付けた話す活動を設定している。	○ 洋服店での買い物 ○ レストランでの注文 ○ 目的地までの行き方の尋ね方 ○ 電話の会話	○ 「Time for a Skit」洋服店での買い物 店員： May I help you? ケンタ： Yes, I'm looking for a nice shirt. 店員： How about this one? ケンタ： Mmm... it's too expensive for me. Do you have any cheaper ones?
光 村	○ 「Skit Time」で身近で具体的な場面を設定し、会話練習をしながらコミュニケーションに役立つ慣用表現の練習を設定している。	○ 電話 ○ 道案内	○ 「Skit Time①」電話 Bill's mother: Hello. Rumi: Hello. This is Rumi. May I speak to Bill, please? Bill's mother: I'm sorry. He's out. Would you like to leave a message? Rumi: Yes, please. Could you ask him to call me back, please? Bill's mother: Sure.

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥問題解決的な学習に関する内容構成
方法	情報収集し発信する内容構成のテーマ及び具体例

	情報収集し発信する内容構成	テーマ	具体例（日本文化に関すること）
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ Daily Scene ○ Presentation 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ウェブサイト ○ 町紹介 ○ 日本文化紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Presentation 1 日本文化紹介 Hop 日本文化についてのモデル文を理解しよう Step 紹介したい日本文化を考えよう Jump 選んだ日本文化について書いて発表しよう Challenge 世界の友達の国の文化について知ろう
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ My Project 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知りたい情報を引き出そう ○ CMを作ろうーこんなものがほしい ○ あの人にインタビューしよう ○ 日本文化を紹介しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ My Project ⑧ 日本文化を紹介しよう 1 次のスピーチ原稿を読んで、文章の構造を考えましょう。 2 日本の伝統行事や有名な祭りなどについて調べ原稿を書きましょう。 3 2で書いた文を組み合わせて、スピーチ原稿を作りましょう。 4 発表しましょう。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ Book Project ○ Chapter Project 	<ul style="list-style-type: none"> ○ インタビューをしよう ○ 観光パンフレットを作ろう ○ 尊敬する人についてスピーチをしよう ○ 私の人生 ○ 日本の伝統文化を紹介しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Chapter 1 Project 日本の伝統文化を紹介しよう Step1 日本独特の食べ物や身に付けるもの、行事や習慣、その他、様々なものが身の回りにあります。その中から自分が紹介したいものを選びましょう。 Step2 自分が選んだものを紹介する文章の構成を、七夕の例を参考にしてまとめましょう。 Step3 Step2 で考えた構成に沿って具体的に説明する文を書きましょう。 Final Step Step3 で書いたことを文章にまとめてグループのみんなの前で発表しましょう。

【英語】

<p>三省堂</p>	<p>○ Project</p>	<p>○ 友だちにインタビューをしよう ○ 有名人を紹介しよう ○ 自分の町を紹介しよう ○ 先生にインタビューをしよう ○ 日本文化を紹介しよう ○ ディスカッションをしよう</p>	<p>○ Project 2 日本文化を紹介しよう 1 エマとポールが自分の国の文化を Show & Tell で紹介します。 2 あなたが紹介したい日本文化を1つ選んで、あなた自身のアイデアマップを作ろう。 3 日本文化を紹介する Show & Tell の原稿を書こう。 4 日本文化を Show & Tell で紹介しよう。 TRY 友達の発表を聞いて、わかったことをメモしよう。 わからなかったことは質問してみよう。</p>
<p>教出</p>	<p>○ Project ○ Task</p>	<p>○ 好きなマンガやアニメなどについて発表しよう！ ○ ミニ英語新聞を作ろう ○ アンケート調査をして発表しよう！ ○ 理想の街を紹介する ○ 日本の有名なもの紹介 ○ 自分たちの町のガイドブックをつくらう！ ○ 日本の行事や風物について説明する</p>	<p>○ Lesson 4 Jump Task 日本文化についての文章例を参考にして、自分が英語で説明してみたいことを書いてみよう。 (1) 日本のお正月についての英文を読んで、わかったことを友だちと確認しよう。 (2) また、次の英文を参考にして、Children's Day (こどもの日) など、日本の他の行事や風物について説明する英文を書いてみよう。</p>
<p>光村</p>	<p>○ CLIL ○ Go for it!</p>	<p>○ 食品と私たちの体 ○ A L T新聞を作ろう ○ 日本の歴史 ○ 世界の天候 ○ 「私たちの町」を紹介しよう ○ スポーツをもっと知ろう ○ 情報通信技術の発達と社会</p>	<p>○ CLIL 英語で学び、考えよう 1 (歴史) Japanese History 日本の歴史 Task 2 偉人の人生を説明してみよう 1 下の—— に [] から語を選んで適切な形に変えて入れ、伊能忠敬について説明してみましよう。 2 グループになり、好きな歴史上の人物を一人選び、英語で説明してみましよう。</p>

視点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦ 言語材料の配列
方法	文法事項が扱われる単元名

	学年	総単元数	文法事項が扱われる単元名										
			三人称単数現在形	進行形	過去形一般動詞	未来表現	to不定詞	動名詞	比較変化	受け身	現在完了形	分詞	関係代名詞
東書	1	11	Unit 6	Unit 9	Unit 11								
	2	7				Unit 2, 4	Unit 3	Unit 6	Unit 7				
	3	6								Unit 1	Unit 2, 3	Unit 5	Unit 6
開隆堂	1	11	PROGRAM 6	PROGRAM 9	PROGRAM 10, 11								
	2	12				PROGRAM 2	PROGRAM 6	PROGRAM 7	PROGRAM 9, 10	PROGRAM 11			
	3	10									PROGRAM 1, 2	PROGRAM 6	PROGRAM 7, 8
学図	1	9	Lesson 5	Lesson 8	Lesson 9								
	2	8				Lesson 3	Lesson 5	Lesson 6	Lesson 7, 8				
	3	7								Lesson 1	Lesson 2, 3	Lesson 4	Lesson 5, 6
三省堂	1	9	LESSON 6	LESSON 8	LESSON 9								
	2	8				LESSON 3	LESSON 6	LESSON 4	LESSON 7	LESSON 8			
	3	8									LESSON 2, 3	LESSON 6	LESSON 5
教出	1	10	Lesson 5	Lesson 8	Lesson 9								
	2	9				Lesson 2	Lesson 6, 9	Lesson 4	Lesson 7	Lesson 8			
	3	7									Lesson 2	Lesson 4	Lesson 5
光村	1	11	Unit 7	Unit 9	Unit 10, 11								
	2	9				Unit 3	Unit 5, 6	Unit 5	Unit 7, 8	Unit 9			
	3	7								Unit 1	Unit 2, 3	Unit 4	Unit 5

【英語】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧題材の内容構成と分量
方法	題材（日常生活・風俗習慣，物語，地理・歴史，伝統文化，自然科学）及び単元数，単元名

第3学年			
	題材	単元数	単元名
東 書	日常生活 風俗習慣	1	Unit 3 Fair Trade Event
	物 語	2	Let's Read 1 A Mother's Lullaby Let's Read 2 The Green Door
	地理・歴史	3	Unit 0 Countries around the World Unit 2 From the Other Side of the Earth Unit 6 Striving for a Better World
	伝統文化	1	Unit 1 Pop Culture Then and Now
	自然科学	3	Unit 4 To Our Future Generations Unit 5 Living with Robots – For or Against Let's Read 3 An Artist in the Arctic
	そ の 他	0	
開 隆 堂	日常生活 風俗習慣	1	PROGRAM 7 What Is the Most Important Thing to You?
	物 語	2	PROGRAM 4 Faithful Elephants PROGRAM 9 Education First : Malala's Story
	地理・歴史	2	PROGRAM 1 A History of Vegetable PROGRAM 2 Volcanoes in Japan
	伝統文化	2	PROGRAM 5 <i>Sushi</i> -Go-Around in the World PROGRAM 6 Let's Talk about Japanese Things.
	自然科学	2	PROGRAM 3 The 5 Rs to Save the Earth PROGRAM 8 Clean Energy Sources
	そ の 他	0	
学 図	日常生活 風俗習慣	3	Pre lesson Do You Eat Breakfast? Lesson 2 Junior High School Club Life Lesson 6 Interesting Languages
	物 語	2	Lesson 7 The Diary of Anne Frank Reading 2 Fly Away Home
	地理・歴史	2	Lesson 4 Speech-A Man's Life in Bhutan Lesson 5 Stevie Wonder-The Power of Music
	伝統文化	1	Lesson 1 Report for Our School Trip
	自然科学	2	Lesson 3 E-mails from Alaska and India Reading 1 Energy and the Environment
	そ の 他	0	

【英語】

三省堂	日常生活 風俗習慣	1	Lesson 5 Places to Go, Things to Do
	物語	2	Let's Read 1 Dolphin Tale Let's Read 3 The Story of Nishikori Kei
	地理・歴史	2	Lesson 4 The Story of Sadako Lesson 6 I Have a Dream
	伝統文化	2	Lesson 2 France—Then and Now Lesson 3 <i>Rakugo</i> Goes Overseas
	自然科学	1	Let's Read 2 We Can Change Our World
	その他	2	Lesson 1 My Favorite Words Lesson 7 English for Me
教 出	日常生活 風俗習慣	2	Lesson 4 Today's News Lesson 6 Why do You Have to Work?
	物語	1	Reading Lesson 1 The Diary of Anne Frank
	地理・歴史	1	Lesson 1 Kenta's Homestay in London
	伝統文化	2	Lesson 2 A School Trip to Kyoto Lesson 3 Our First <i>Rakugo</i> in English
	自然科学	2	Reading Lesson 2 My Hope for the Future Optional Reading Giant Squid
	その他	1	Lesson 5 Athletes and Languages
光 村	日常生活 風俗習慣	3	Unit 1 Video Letter from Min-ho Unit 5 Dreams for the Future Unit 7 The Last Concert
	物語	1	Let's Read 2 Visas for 6,000 Lives
	地理・歴史	1	Unit 4 A Guest from Cambodia
	伝統文化	2	Unit 2 How Do They See Japan? Unit 3 Our School Trip
	自然科学	2	Unit 6 Tina's Student News-Net Let's Read 4 Changing the World
	その他	2	Let's Read 1 Treasure Hunt Let's Read 3 The House That Jack Built

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑨小学校外国語活動からの接続を図った構成・配列
方法	第1学年導入期における外国語活動の接続を図った題材数、題材名及び具体例

	題材数	題材名	具体例（最初の題材）
東書	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ Hi, English! ・英語であいさつをしよう ・身の回りのものを英語で言おう ・英語でいろいろなことを言おう ○ Unit0 ・アルファベット 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一日のあいさつ 1 CDなどで（例）英語を聞いて、あいさつの表現を声に出して言いましょう。 （例）A : <u>Good morning, Takashi.</u> B : <u>Good morning, Jill.</u> How are you? A : I'm <u>fine</u>, thank you. And you? B : I'm <u>OK</u>.
開隆堂	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ Let's Start ・新しい友だちをつくろう ・町の中の会話を聞こう ・身の回りにあるものの英語 ・英語を聞いてみよう・使ってみよう ○ PROGRAM 1 ・アルファベットになれよう ・アルファベットが表す音を聞いてみよう ・アルファベットを書こう ○ アルファベットで遊ぼう ○ Classroom English ○ 辞書を引いてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい友だちをつくろう 場面に合わせて友だちや先生と大きな声でやりとりをしましょう。 ① 新しい友だちに出会いました。自分の名前を言ってあいさつしましょう。 Hello / Hi. My name is _____. Nice to meet you. Hello / Hi. I'm _____. Nice to meet you too. ② 授業が始まります。先生にあいさつをしましょう。 Hello, everyone. Hello, Mr. _____ How are you? Fine, thank you, _____
学図	8	<ul style="list-style-type: none"> ○ Pre-lesson ・会話を聞いてみよう ・クラスメートと自己紹介をしよう ・自己紹介をしよう ○ Let's Start ・The Alphabet ・つづりと発音 A ・つづりと発音 B ・身の回りの英語 ・あいさつをしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつをしよう ① Good morning, Mr. Noda. Good morning, Miku. ② Hello, Ms. Allen. Hi, Hiro. ③ Good bye, Ms. Allen. See you. Good night.
三省堂	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ Get Ready ・コミュニケーションを楽しもう ・友達になろう ・アルファベットを覚えよう ・英語の音とつづりに親しもう ・英語の文字を書いてみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コミュニケーションを楽しもう 英語を聞いて、どの場面か選ぼう。 ① あいさつをしている絵 ② 道案内をしている絵 ③ オーストラリアからの女の子とあいさつをしている絵 ④ 折り紙と折り鶴を見せしている絵 ⑤ アイスクリームを買っている ⑥ 弁当を食べている絵
教出	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ Springboard ・あいさつをしよう ・こんなときはこう言おう ・身のまわりの英語 1 ・身のまわりの英語 2 ・アルファベットに親しもう ・アルファベットの音とつづりに親しもう ・数字 ・曜日と教科 ・色 ・名前を書こう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつしよう ① 先生と英語であいさつをしよう。 Good morning, Kenta. How are you? I'm fine. Thank you. How are you, Ms. King? I'm fine, too. Thank you. ② 新しい友だちと英語であいさつをしよう。 Hello. Hi. My name is Ono Ayaka. My name is Bob West. Nice to meet you. Nice to meet you, too. See you. Goodbye.
光村	6	<ul style="list-style-type: none"> ○ Let's Enjoy English! ・あいさつ ・さまざまな場面の英語 ・アルファベット ・身の回りのもの ・数字 ・教室で使う英語 	<ul style="list-style-type: none"> ○ あいさつ ① 出会ったとき Hi. Hello. Good morning. Good afternoon. Good evening. ② 教室で Hello. How are you? Fine, thank you. And you? Fine, thank you. ③ 別れるとき Goodbye. See you.

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑩巻末等資料の工夫
方法	巻末等資料の内容及び語彙リストにおける表記の仕方と具体例

第2学年			
	内容	語彙リストにおける表記の仕方と具体例 (単語 as)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料編」として、次の資料を掲載している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 Word List 2 Bonus Word Box 3 形容詞・副詞比較変化表 4 不規則動詞変化表 5 2年 基本文・Basic Expression 一覧 6 1・2年 表現のまとめ 7 名作鑑賞 I'll Always Love You ○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 手話, 点字 ・ Word Room 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Word List <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を印刷体で表記している。 ・ 特に覚えたい語を太字で表記している。 ・ その意味が初めて出たページを数字で表記している。また、その意味が1年生で既出の単語は斜体の数字で表記している。 ・ その単語が1年生で出て、2年生で出ていない場合は白抜きで表記している。 	<p>as [æz / əz] 代 前 副 接</p> <p>代 …のような</p> <p>前 ①…として</p> <p>②→such</p> <p>副 接【比較】 ~と同じくらい…</p> <p>[ふつう as...as~の形で用いられる。前の as は副詞]</p> <p>not as...as~ ~ほど…でない</p>
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 Basic Dialog のまとめ 2 クイック Q&A 3 英語の音声 4 英語のつづり字と発音 5 短縮形のまとめ 6 数の言い方 7 英語の歌 8 単語と熟語 9 不規則動詞活用表 10 学校の内外 11 いろいろな職業 12 いろいろな前置詞 13 感情や状態を表す形容詞 14 日本の祝日・学校行事 15 町を案内しよう ○ 「付録」として、次の資料を掲載している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 Extensive Reading 2 英語で「できるようになったこと」リスト (とじ込み) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単語と熟語 <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を印刷体で表記している。 ・ この教科書で初出の語および連語を太字で表記している。 ・ この教科書で初出の固有名詞などと、前の学年で学習した語句を細字で表記している。 ・ 特に重要な語を*印で表記している。 ・ その単語及び連語などがこの教科書で初出のページを数字で表記している。 ・ 1は1年で学習した語を表記している。 ・ 辞書で熟語などを調べる時まず調べるとよい単語を本の記号で表記している。 	<p>*as 節 ~につれて</p> <p>副 (as~as...) …と同じくらい~</p> <p>not as ~ as ... …ほど~でない</p> <p>前 ~として</p>
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「付録」として、次の資料を掲載している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 英語の歌 <ul style="list-style-type: none"> ・ Yesterday Once More ・ I Just Called to Say I Love You ・ Imagine 2 More Words <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業 ・ 感情と性格 3 つづりと発音 4 不規則動詞の変化表 5 形容詞と副詞の変化表 6 目標文のまとめ 7 ミニ辞典コーナー 8 色と形 9 ジェスチャー 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ミニ辞典コーナー <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を印刷体で表記している。 ・ 特に重要な単語を太字で表記している。 ・ その単語 (の意味) 初出のページを数字で表記している。 ・ 白抜きの1は1学年で既出の語を表記している。 	<p>as [æz / əz] 前 ~として</p> <p>接 [比較] ~と同じくらい</p> <p>as~as... …と同じくらい~</p> <p>as much as~ ~と同じくらい</p> <p>as well → well</p> <p>the same as → same</p>

【英語】

<p>三省堂</p>	<p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Further Reading <ul style="list-style-type: none"> ・ Zorba's Promise ・ A Calendar of the Earth ・ Welcome to Ogasawara 2 Songs【英語の歌】 3 つづりと発音【子音】 4 絵でわかる英語のしくみ 5 基本文のまとめ 6 数の表現と数字の読み方 7 いろいろな符号 8 いろいろな単語 9 会話表現 10 不規則動詞活用表 11 形容詞・副詞比較変化表 12 単語の意味 	<p>○ 単語の意味</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語をゴシック体と印刷体で表記している。 ・ 大切な語をゴシック体で表記している。 ・ 特に大切な語をゴシック体の太字で表記している。 ・ 覚えておくと便利な語を印刷体で表記している。 ・ 数字は2年生で初めて出るページを表記している。 ・ ①は1年で学習した語を表記している。 	<p>as [éɪz] 副 [as A as Bで] Bと同じくらいA《前のasが「それと同じだけ(A)」の意味で副詞、あとのasは「(Bが)～である[する]のように」の意味で接続詞》。</p> <ul style="list-style-type: none"> － 接 (～が～する) ように、(～する) とおりに。 － 前～として。
<p>教出</p>	<p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 辞書についていっしょに学ぼう！ <ul style="list-style-type: none"> ・ 形容詞の調べ方 ・ アクセントや音節の調べ方 2 Optional Reading 3 Sing Along! <ul style="list-style-type: none"> ・ Elm Tree Dreams ・ Stand by Me 4 重要構文復習リスト 5 Word List 6 形容詞・副詞比較変化表 7 不規則動詞変化表 8 Can-Do 自己チェックリスト 	<p>○ Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を印刷体で表記している。 ・ 特に覚えない語を*印で表記している。 ・ その意味が最初に出たページを数字で表記している。 ・ 太字は第2学年の新出語を表記している。 ・ 白抜きの1は1学年で既出の語を表記している。 	<p>*as 接①→such ②(～する) ように as you know ご存知のように 副 接 [as～as...で] …と同じくらい～ as well as～ ～と同様に 前～として</p>
<p>光村</p>	<p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Your Coach ・ CLIL 英語で学び、考えよう ・ Word Square ・ Writing Fun ・ 英語の歌 <p>○ 「巻末付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 Let's Read More 2 数字の読み方 3 短縮形のまとめ 4 英語のしくみ 5 不規則動詞活用表／形容詞・副詞の変化 6 音声のまとめ 7 Word List 8 基本文一覧 9 Classroom English 10 こんなときどう言うの 	<p>○ Word List</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を印刷体で表記している。 ・ 特に重要な語を太字で表記している。 ・ その語や連語が初めて出るページを数字で表記している。 ・ 白抜きの1は1年生で既出の語を表記している。 	<p>as [éɪz / əz] 副 同じくらいに as usual → usual as～as... …と同じほど～ 前①～として、～のように ②～のときに as a child 子どもの頃(に)</p>

観点	(工) 内容の表現・表記
視点	⑩学習到達目標の設定
方法	自らの学びを振り返る学習到達目標の設定場所等と具体例

	設定場所等	具体例 (第3学年末「書くこと」)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Presentation」における「振り返ろう」 ○ 「書く・話す」「読む」「聞く」別に設定されており、達成していればチェックを入れるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5文以上の英語で、自分の選んだ日本文化について書いて発表できた。 ○ 5文以上の英語で、自分の修学旅行について書いて発表できた。 ○ 5文以上の英語で、自分の中学校生活について書いて発表できた。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末付録 「英語で『できるようになったこと』リスト ○ 4技能別に設定されており、できるようになったことには日付の下に○をつけるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10文程度で自己紹介の文章を書くことができる。 ○ 自分の趣味について、4～5文のわかりやすいまとまりのある文章を書くことができる。 ○ ものごとの「好き」「嫌い」とその理由を書くことができる。 ○ 短い日記を書くことができる。 ○ 簡単なカード、はがき、メールを書くことができる。 ○ 短い伝言をメモに書くことができる。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ Chapter 扉と最後 ○ Chapter 毎の目標を振り返る場 (Project), 1年間の振り返る場 (Project) を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の伝統文化について、簡単な紹介文が書けるようになります。 ○ 世界の人々にインタビューができるようになります。 ○ 大切な人や尊敬する人について、まとまった文章が書けるようになります。 ○ 自分の人生を過去から現在、そして未来まで書けるようになります。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末 「What Can I do?」 CAN-DO リスト ○ 4技能別に設定されており、3段階で評価させるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の経験について、自己紹介カードを書くことができる。 ○ 短い英文の物語を参照しながら、その要約文を書くことができる。 ○ ある人物の資料を参照しながら、その人物を紹介する短い記事を書くことができる。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末付録 「Can-Do 自己チェックリスト」 ○ 4技能別に設定されており、4段階で評価させるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理由や例を挙げて、相手に説明する短い文章を書くことができる。 ○ 新聞、レポート、ガイドブックなどの形式で、身近なことを説明する短い文章を書くことができる。 ○ 趣味や事物について、つながりのあるまとまりのある文章を書くことができる。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 末「You Can Do It!」 ○ 目標到達状況を、A,B,C,Dの4段階で評価させるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の様子を紹介できる。 ○ 自分が経験したことについて人にすすめるスピーチができる。 ○ 修学旅行で訪れた場所について、体験や感想を含めて具体的に書くことができる。 ○ 将来の夢について、具体的な理由を説明して書くことができる。 ○ 環境問題などに関する文章を読んで、自分の考えを書いたり、伝えたりできる。 ○ お礼の手紙で感謝の言葉や思い出を伝えることができる。

観点	(才) 言語活動の充実
視点	⑫ 4技能を統合的に活用させる言語活動の工夫
方法	4技能を統合的に活用させる言語活動の設定場所とテーマ及び具体例

	4技能を統合的に活用させる言語活動の設定場所	テーマ	4技能を統合的に活用させる言語活動の具体例（第1学年）
東書	○ Presentation	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己紹介 ○ 一日の生活 ○ 思い出の行事 ○ 将来の夢 ○ 町紹介 ○ 好きなこと・もの ○ 日本文化紹介 ○ 修学旅行 ○ 中学校生活 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Presentation 1 自己紹介 Hop 自己紹介のモデルを理解しよう Step 自己紹介の内容を考えよう <ol style="list-style-type: none"> 1 自分の自己紹介で取り上げたい話題を1つ選びましょう。 2 1で選んだ話題について、次の文の _____ をかえて言いましょ。 Jump 話したい内容を書いて自己紹介をしよう <ol style="list-style-type: none"> 1 原稿を作ろう 2 発表して質問し合おう Challenge 世界の友達の自己紹介を聞こう
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ My Project ○ Special Project 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のことを話そう ○ 人を紹介しよう ○ 知りたい情報を引き出そう ○ スキット作りを楽しもう ○ スピーチをしようーこんな人になりたい ○ CMを作ろうーこんなものがほしい ○ あの人にインタビューしよう ○ 日本文化を紹介しよう ○ 卒業に向けてー思いを伝えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ My Project ① 自分のことを話そう <ol style="list-style-type: none"> 1 はじめに2人のスピーチを聞きましょ。 2 表現をふり返りましょ。 3 原稿を作りましょ。 (協働) グループの友だちの原稿を読んで、お互いにアドバイスましょ。 4 発表ましょ。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ Chapter Project ○ Book Project 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のことを伝えよう ○ ○○さんを紹介しよう ○ 写真の説明をしよう ○ 手紙を書こう ○ 旅行の計画を立てよう ○ 将来の夢 ○ 私の宝物 ○ 日本の伝統文化を紹介しよう ○ インタビューをしよう ○ 尊敬する人スピーチをしよう ○ 自分の意見を言おう 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Chapter 1 Project 自分のことを伝えよう Step1 次の自己紹介のスピーチを聞いて、聞き取れたことを書きましょ。 Step2 Step1で聞いたスピーチを参考にして、自分のことについて伝えたいことを書き出ましょ。次の例文の下線部を自分のことに置きかえて書いてみましょ。 Step3 Step2で書き出したことの中から、スピーチで伝えたい文を選んでまめましょ。 Final Step Step3でまとめた文章の初めにあいさつと名前、最後にしめくくりの言葉を加え、グループのみんなの前で発表ましょ。

三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ Project 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己紹介をしよう ○ 友達にインタビューしよう ○ 大切なものを紹介しよう ○ 有名人を紹介しよう ○ 自分の夢を紹介しよう ○ 自分の町を紹介しよう ○ 先生にインタビューをしよう ○ 日本文化を紹介しよう ○ ディスカッションをしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Project 1 自己紹介をしよう。 1 生徒会誌の「ALT の先生紹介」コーナーに、ブラウン先生の自己紹介が掲載されました。英文を読んでわかったことをメモしよう。 2 ブラウン先生との初めての授業です。先生の自己紹介のあと、みんなが先生に質問します。 3 今度はあなたが自己紹介をする番です。はじめに自己紹介の準備をしよう。 4 聞いている人の顔を見ながら、自分らしさが伝わる自己紹介をしよう。 Try 友達の自己紹介を聞いてわかったことをメモしよう。わからなかったことは、質問してみよう。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ Project 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己紹介をしよう！ ○ 友だちをみんなに紹介しよう！ ○ 好きなマンガやアニメなどについて発表しよう！ ○ ミニ英語新聞を作ろう！ ○ あなたの夢を語ろう！ ○ アンケート調査をして発表しよう！ ○ 自分たちの町のガイドブックを作ろう！ ○ 英語で卒業スピーチをしよう！ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Project 1 自己紹介をしよう！ 1 Edward（エドワード）が写真を見せながら自己紹介をしています。聞き取ったことを○で囲もう。 2 Rumi の自己紹介を読んで、読み取った内容を英語でメモしよう。 3 Edward や Rumi の自己紹介を参考にし、あなたの自己紹介文を書こう。 4 3 でつくった英文を暗記して、クラスの前で発表しよう。 Let's Try 発表を聞いたあと、発表者に質問をしてみよう。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ Go for it! ○ CLIL 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自己紹介をしよう ○ 大切な人のことを紹介しよう ○ ALT 新聞を作ろう ○ 旅のしおりを作ろう ○ 職場体験の報告をしよう ○ 「私たちの町」を紹介しよう ○ 修学旅行新聞を作ろう ○ 給食と弁当どちらがいい？ ○ 卒業文集を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Go for it! 1 自己紹介をしよう Step 1 自己紹介のスピーチを聞いてみましょう。 Step 2 スピーチの内容を考えましょう。 Step 3 スピーチ原稿を書きましょう。 Step 4 みんなの前でスピーチをしましょう。 TRY スピーチを聞いた後で、友達に質問しましょう。